

海辺の多伎図書館

みんなが集い みんなで創る



地域に開かれた、利用しやすい図書館をめざします。
昨年度は約7万人の来館者がありました。

「海辺の多伎図書館」が誕生して、今年で開館1年を迎えます。
今回は、開館1周年を記念したイベントと、この館の魅力をみなさんにお知らせします。



海辺の多伎図書館長からの
お誘いメッセージ

テラスで雄大な日本海を眺めながら、読書のできる図書館として開館1年。うれしいことに遠くからも多くの来館者があります。
近隣に書店がなく、本屋さんの役割も担おうと、入ってすぐの書架には新刊本を並べています。
本や新聞・雑誌などを読みながらくつろぎのひとときを過ごしたい人には、中ほどにある畳スペースがおすすめです。
奥に入ると子どもたちを別世界が迎えます。絵本コーナーやおはなしの部屋は、飽きのこない心安らぐ空間です。
多伎図書館で、家族や友だちとすてきな時間をお過ごしください。



新刊本を前に、本を選んでいる家族

問合せ先

図書情報センター	21-0487
平田図書館	63-4010
佐田図書館	84-9009
海辺の多伎図書館	86-7077
湖陵図書室	43-2480
大社図書館	53-6510

開館1周年記念

ストーリーテラ-宇田祥子のおはなしの夕べ&夕陽鑑賞会

「語り手である宇田さんのお話を聞くとその本が絶対読みたくなる」
- 子どもの読書活動にかかわっている人たちの間では評判です。
夕陽を存分に堪能した後は、お話の世界が待っています。

とき：6月4日(土)
夕陽鑑賞会 18時30分～19時20分
おはなしの夕べ 19時20分～20時30分
定員：50人
(定員になり次第締め切ります)
参加費：無料
対象：一般。ただし、小学校中学年以上で静かに聴ける人であればだれでも参加できます。
申し込み・おたずね
海辺の多伎図書館 (TEL 86-7077)

ストーリーテラ-って?
本に書かれている物語を覚えて子どもたちに語って聞かせることを「ストーリーテリング」と言います。「ストーリーテラ-」はその語り手です。

語り手 プロフィール
宇田祥子さん
生の声のぬくもりを大切に、言葉だけで子どもたちにお話を届けるボランティア団体「おはなしブリュッゲン」の代表として活躍
2004年、絵本『ムルンとサルタイ』を発行。

シリーズ
6つの図書館をじょうずに使おう (1)

リクエストサービス
- パソコン利用サービス 編 -

地域の情報拠点としての役割を担っている図書館。あなたのライフスタイルに合わせて上手にご利用ください。

リクエスト・サービスを
よく存知ですか?

読みたい本が貸出中だったり、その図書館になかったりしたときには、リクエスト・サービスをご利用ください。申し込みをすれば、本を探してもらえらるサービスです。このサービスは全館共通です。
できる限り、要望に応えることができるよう努力をします。
【利用方法は?】
窓口にある申込用紙に「書名・著者名・出版社」などを書いて受付ボックスに入れるか、職員に渡してください。
本が準備できたら、申込者に連絡をします。

パソコンが利用できます

図書情報センター、佐田図書館、多伎図書館、大社図書館、湖陵図書室には無料でインターネットを利用できるパソコンがあります。また、図書情報センターには朝日新聞記事データベース(閲覧)、日経経済情報(日経テレコン21)を無料で検索できるパソコンも1台置いてあります。



学校帰りにパソコンを利用する中学生(図書情報センター)

新着図書

浜山と井上恵助～砂との闘い
藤岡 大拙/監修
井上恵助翁研究会/刊



20年以上の歳月をかけ、浜山に松苗を植栽した井上恵助。過酷な自然と闘いながら、美しい松林を残した功績を紹介した本。

お知らせ

佐田図書館
募集します
「成人読書会」

事前にお渡しする本を読んで、感想を互いに語り、知識や視野を広げる会で、年5回開催します。
とき 初回は、6月8日
13時30分～16時

ところ ササノオホール(佐田町反辺)
募集人数 14人
申し込み・おたずね 5月20日までに佐田図書館(84-9009)へ
参加費 無料

大社図書館
募集します
「でんでんむしボランティア」

子どもと本の架け橋となり、読書活動の支援をしたい人を募集します。

活動内容 絵本の読み聞かせや点訳・図書整理など
申し込みおたずね 大社図書館(53-6510)



子どもたちに絵本を読んでいるボランティア

哀歌(上)(下)
曾野 綾子/著 毎日新聞社/刊

貧困と飢餓と動乱の大陸、アフリカ。修道女・鶴飼春菜を通じて、日本人が忘れた生きることの喜びと悲しみの原点を描いた長編小説。

